

妖異むだ言

国枝史郎

青空文庫

幽霊の中で好いものは、牡丹燈籠のお米である。牡丹燈籠を下げて主人を案内して、恋の仲介をするあたりは、人情があつて面白い。

不快な幽霊は小幡小平次で、気の毒な幽霊は小仏小平であろう。滑稽な化物は唐傘の一本足で、愛嬌のあるのは一ツ目小僧が、大阪の子供に人気のあるのは、酒を買いに行く豆狸である。

路傍で見て凄いの流灌頂。

妖怪画で面白いのは「百鬼夜行」で、特に光信のそれがよい。狩野芳崖の鷲の「絵」なども、一種の妖怪画と云つてよい。

美しい幽霊は雪女郎で、泉鏡花さんのお書きになるところの、

いろいろの幽霊も美しい。喜多村丈の好む以上に、私も鏡花さんの幽霊を好む。

姑護女という幽霊には同情される。只何んただとなく同情される。出いず可べくして出でたと思われるのは、佐倉宗五郎の幽霊である。根津某の幽霊も宗五郎の幽霊と似たような意味で、その出現は意味である。

化物の中での豪傑は、おそらく三本五郎左衛門であろう。天狗の一種だということであるが、衆をひきいて山嶽を渡って、大移動をするのは痛快である。

菅公を幽霊に化したのは、物語作者の悪趣味である。菅公はすがすがしく保つ可きである。こういう悪趣味の物語作者は、軍神

広瀬中佐などを、やがては幽霊に化かすだろう。

オスカ・ワイルドの書いた所の「カンタビイルの幽霊」は保守主義者であり貴族主義者である。だからすっかり滑稽化せられた。「クリスマス・カロール」に出る幽霊は、一種の平凡な哲学者である。

花の妖なるものは曼珠沙華であろう。

人の妖なるものは、平賀源内で、山師で新智識で不平家で、文
学者で俗物で哲学者で、そうして立派な男色家であろう。

型化された幽霊は、謡曲中の幽霊である。終いには懺悔をし成しま
仏をする。諦めのいい幽霊と言わなければならぬ。

妖怪文学での白眉といえば小泉八雲の「轆轤首」であって決し

て「耳なし法師」では無い。

巴のはじまりは眉間尺である。凶案化された化物と云えよう。「四谷怪談」で恐ろしいのは、お岩でもなければ小平でも無い。群れて現われる鼠である。

よき春画には幽霊味があり、よき宝石にも幽鬼味がある。

何んとなく好きな妖怪といえ、官女姿の刑部明神で、荘重で典雅で色っぽい。

どんな幽霊でも化物でも、人間の形に則のつとるのは、不思議なように不思議で無い。幽霊や化物を創造つくり出した者が、その人間であるのだから。こういう意味から云う時も、人間というものは利己的なものだ。自己により近い存在で無ければ、決して是認しよう

としない。

新幽霊談の創造は、現代人にはむずかしい。と云うのは立派な幽霊談が、過去にあるからと云うのでは無い。過去の幽霊談に心酔し、とらわれ過ぎていいるからである。

荒唐無稽を狙っているのは、新幽霊談は作れない。尋常な理詰めを心掛けた時に、新幽霊談は創造出来る。

日本の古典で鬼気のあるのは、枕草子を以て最とする。

建築では奈良の南国堂か？

大地を割ってはじめて出た、植物の双葉というようなものには、幽霊のような凄味がある。

青空文庫情報

底本：「国枝史郎探偵小説全集 全一卷」作品社

2005（平成17）年9月15日第1刷発行

底本の親本：「探偵趣味」

1928（昭和3）年3月

初出：「探偵趣味」

1928（昭和3）年3月

入力：門田裕志

校正：きゅり

2018年9月28日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<https://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

妖異むだ言

国枝史郎

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>